

社協 みのかも

2023

6

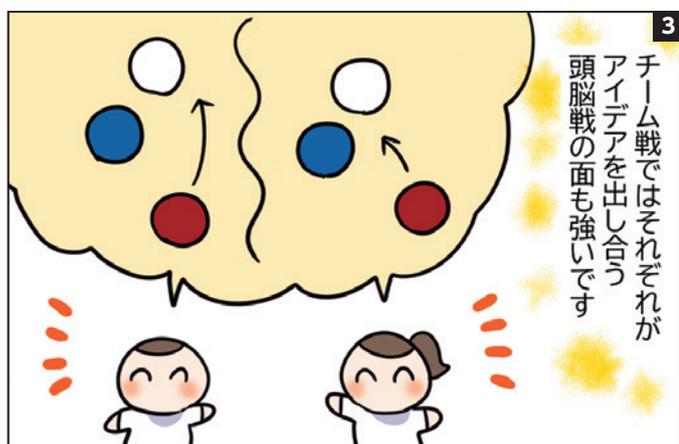
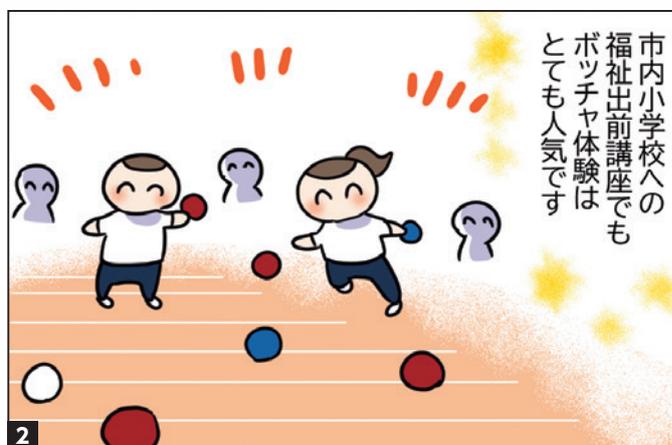
第186号

社協
四コマ劇場
VOL.17

社会福祉協議会は学校とともに、子どもの学びや育ちを支える「福祉教育」を推進しています。社協職員の知識や経験を活かし、学校の授業や地域で実施される研修会等に講師として伺い、福祉や福祉教育に関する講座を開講しています。

学校で行う福祉出前講座の一つとして、障がい者スポーツの体験を行っています。障がい者スポーツは、競技の一つ一つが工夫されており、障がいの有無にかかわらず、皆が一緒に参加することができます。また、講座の中ではパラリンピックについても触れ、障がい者スポーツへの関心を促しています。

福祉教育についての詳細は、7ページをご覧ください。



P.N めいみ

社協四コマ劇場は、就労準備支援事業で関わっている方に作成していただきました。

目次

P2-3 令和5年度 事業計画
P4 会費の使い道
P5 サロン紹介/寄付紹介

P6 お結びん/食品募集
P7 みのかもエール！
P8 お知らせ



■ 編集・発行 社会福祉法人美濃加茂市社会福祉協議会

美濃加茂市新池町三丁目4番1号 ☎0574(28)6111

ホームページ: <https://minokamo-shakyo.or.jp/> E-mail: info@minokamo-shakyo.or.jp

この広報誌は、共同募金の配分を受けて発行しています。



令和5年度 事業計画

美濃加茂市社会福祉協議会は、
市民の皆さまのご協力を得ながら地域福祉事業に取り組めます。

地域福祉

地域の福祉課題の解決に向け、市民の皆さまとともに、誰もが安心して暮らす
ことができる地域づくりに取り組んでいきます。 TEL：28-6111

ボランティア事業

- ボランティア活動の支援
(講座、研修、保険、助成金等)
- 災害ボランティアセンター事業
- 介護支援ボランティア事業

生活支援事業

- 弁護士相談
- 結婚相談
- フードバンク事業
(緊急食料支援、フードパントリーお結びん、
フードドライブ事業)
- 援護事業(被災者、交通遺児等)
- 生活福祉資金の貸付

支部社協事業

- 支部社協活動支援
- 前平霊苑管理



下米田見守り会議の様子▶

地域支え合い事業

- 生活支援コーディネーター事業
- 地域のつながり事業
(ミシンカフェ、まちの大学minokamo)
- 歳末たすけあい援助事業
- 社会福祉法人連携
- ふれあい・
いきいきサロン



ミシンカフェの様子▶

子ども支援事業

- 学習支援教室(ひとり親家庭対象)の開講
- ひとり親家庭交流会の開催
- 子ども食堂支援
- 福祉教育の推進



子ども食堂の様子▶

広報啓発事業

- 健康・福祉すこやかフェスティバルの開催
- 社会福祉大会の開催
- 広報誌の発行
- ホームページ
- SNS(Facebook、Instagram)による発信

貸出事業

- 福祉車両貸出
- 車椅子貸出
- 綿菓子機、
ポップコーン機等の
貸出



▲福祉車両

その他

- 赤い羽根共同募金事業
- 日本赤十字社事業



権利擁護事業

- 権利擁護支援センター運営事業
- 日常生活自立支援事業 TEL:28-1126

総合相談

高齢・障がい・生活困窮などの困りごとに対して、専門員が相談者に寄り添い、総合的・一体的な相談支援を行います。

高齢福祉

- 居宅介護支援
(ケアマネジャーによる
ケアプラン作成)
TEL:28-1101

- 訪問介護
(ホームヘルパーによる
訪問介護サービス(身体
介助、家事援助)の提供)
TEL:23-0711

障がい福祉

- 計画相談支援
(サービス等利用計画の作成)
- 障害支援区分認定調査
TEL:28-6556



相談の様子

生活困窮支援(心と暮らしの相談窓口 市役所福祉課内)

仕事・お金・ひきこもり・借金問題など生活の困りごとや生きづらさの解消に向けて、ご本人と一緒に取り組んでいきます。
TEL:25-2111(内線341)



就労準備支援 サロンのお手伝いの様子

総合福祉会館

高齢者、障がい者、幼児、母子寡婦、ボランティア等のふれあいの場、及び福祉活動の拠点として、市民福祉の向上に寄与するよう、総合福祉会館の管理・運営を行います。喫茶コーナーむくの木も設置運営しています。健康コーナーでは、看護師が健康に関する相談や血圧測定等を行うことで高齢者の健康管理を支援します。また、高齢者の健康増進や仲間づくりを目的に各種健康教室を開催します。 TEL:28-6111



ふれあい広場(中庭)



健康コーナー



むくの木 ランチ(写真は友禅ごはん)

ひまわりの家

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業所として美濃加茂市の指定管理を受け、就労継続支援B型事業と生活介護事業を行います。 TEL:25-8197



ひまわりの家外観



作業の様子



支え合い 笑顔あふれる まちづくり

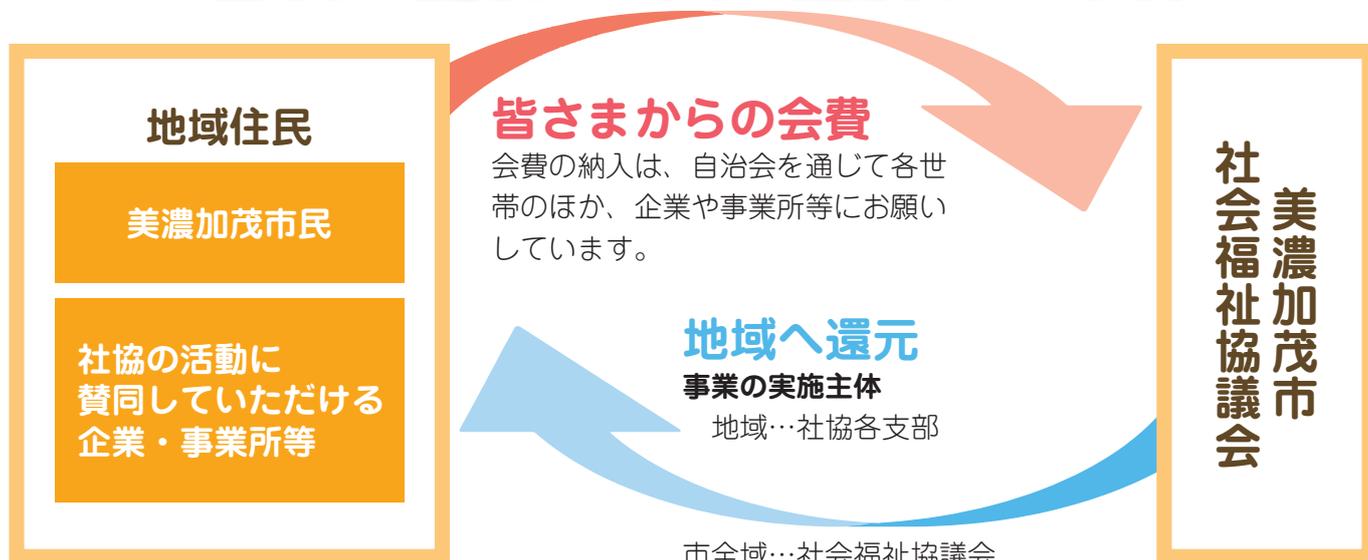
～地域共生社会の実現に向けて～

社会福祉協議会は、「地域福祉の推進」を図ることを目的とした団体です。地域での人と人とのつながりを大切にし、住み慣れた地域で安心して生活できる福祉のまちづくりを目指して、活動の支援、協力、助成、相談支援などを行い、地域福祉の推進と課題解消に努めていきます。

社会福祉協議会の事業は、地域の皆さまをはじめ、各企業、事業所等からの会費、市からの助成金、寄付金などを財源に実施しています。

皆さまには、社会福祉協議会の活動にご理解ご賛同いただき、会費納入にご協力をお願いいたします。

＼皆さまの会費はこのように活用されています！／



＼例えばこのような活動に使われています！／



福祉教育の推進(白杖体験の様子)



地域活動の支援(山之上支部研修会の様子)



ふれあい・いきいきサロン



福祉機器の貸出



緊急食料支援



地域のつながりづくり(スマホ講座の様子)

あなたのまちにも

ふれあい・いきいきサロン

聞いてちょう
見てちょう
サロン訪問記

上切ふれあいサロン (伊深町上切地区)

今年の桜は例年より早く咲いたので、サロン開催日には葉桜？と心配されていましたが、チラチラと花びらが舞う中でサロンが開催されました。伊深小学校の桜とこいのぼりを眺めながら、久しぶりに会われた皆さんで会話が弾んでいました。「近くに居てもなかなか話もできていなかったけど、サロンがあつて良かったわ」「サロンの良さをもっと多くの人に知ってもらって仲間が増えるといいなあ」とサロンが話題になっていました。

集合時に着用されていたマスクも、記念写真を撮る時には外されていました。少しずつコロナ感染症に対する考え方は変わってきていますが、ご自身も仲間も大事にされているのが伝わってきました。



令和5年4月3日「いぶいぶひろば」にて

サロンについてのご相談は、健康推進グループまでお問い合わせください。電話66-1027

あたたかいご寄付ありがとうございます。 (順不同・敬称略) 令和5年2月1日～令和5年5月10日現在

福祉に役立てて

- JU岐阜中濃支部美濃加茂ブロック
- 野村 寿彦 ● 大沢 美智子
- 匿名 2名

香典の一部を

- 匿名 1名

むくの木へ

- 平谷 俊夫

ヘルパーへ

- 匿名 2名

福祉に役立てて(フードバンク)

- カーブスMEGAドン・キホーテUNY美濃加茂店
- 名北工業株式会社 ● 渡邊 和彦
- 中濃法人会女性部会美濃加茂支部
- おてらおやつクラブ ● 匿名 3名
- 社協職員有志

お結びんへ

- (社福)太陽の会 ● (社福)加茂福祉会
- (社福)清流会 ● (社福)明応こども園
- (社福)慈恵会 ● (社福)たちばな会
- (社福)清風会 ● 匿名 4名
- 社協職員有志

福祉に役立てて(物品)

- 匿名 3名

学習支援へ

- おてらおやつクラブ久遠寺
- 匿名 7名

子ども食堂へ

- めぐみの農業協同組合
- 匿名 4名

ひまわりの家へ

- (株)都筑



JU岐阜中濃支部美濃加茂ブロック様から



中濃法人会女性部会美濃加茂支部様から



おてらおやつクラブ久遠寺様から

食品無料配付

「フードパントリー みのかもお結びん」を開催します



- 対象者** 美濃加茂市にお住まいの生活に困窮している世帯
- 開催日** 令和5年6月24日(土) ①13時～ ②14時～ ③15時～
- 開催場所** 美濃加茂市総合福祉会館 **受付期間** 6月5日(月)から6月16日(金)
- 定員** 50世帯(先着順) **利用料** 無料
- 申込み先** 電話(28-5170)または窓口でお申込みください。
- 受付時間** 平日8:30～17:15(土・日・祝は対応していません)
- 今後の予定**
8月5日(土)、10月7日(土)、12月2日(土)、令和6年2月下旬から3月上旬

米、水、缶詰など
数点をお渡しする
予定です。



HP



Instagram



Facebook

今後の開催日などの
詳細は、HP、SNS等
でご確認ください。

もったいないをありがとうに

食品の寄付を募集しています

社協では、ご家庭や企業において眠っている食品の寄付を募集しています。寄付していただいた食品は、生活困窮世帯への配付や子ども食堂、お結びん等で活用します。



○募集している食品 ※なるべく賞味期限が長いもの

- 米(令和4年度産以降の白米・玄米)
- もち ●乾麺 ●缶詰
- レトルト・インスタント食品
- フリーズドライ食品
- お菓子
- 災害備蓄食品
- 飲料(ジュース・
コーヒー・お茶)
- 調味料各種



×お受けできないもの

- 生鮮食品(肉・魚・野菜)
- 冷凍・冷蔵庫保存が必要なもの
- お弁当・サンドイッチ等消費期限の短いもの
- 賞味期限の記載がない食品
- 食べ残しの食品
- 開封済の食品
- 手作りの食品
- お酒



ご協力いただける方は、お問い合わせください。

問い合わせ先 総合福祉会館窓口又は電話(28-5170)

第13回 みのかも エール!

Minokamo Yell

今回は、美濃加茂市社会福祉協議会で「福祉教育」に関わった職員に話を聞きました。それぞれ「障がい者支援」「高齢者支援」「地域福祉」に携わる職員として、どのような思いで子どもたちと向き合ったのかを話してもらいました。

まずは令和4年度、福祉教育に関わってどんな考えや感想を持ったかを教えてください。



社協



深堀さん

「福祉教育」は「福祉って何だろう」ということをわかりやすく伝えることかな、というイメージがありました。それと同時にどう伝えればいいのかという疑問もありましたね。今回は「発達障がい」というテーマで授業をさせてもらいましたが、「発達障がい」という障がいをどう伝えればいいのか、というのは引き続いての課題です。また、話を聞くだけでなく、子どもたちにも取り組めることを作って、参加型の授業を心がけました。



三輪さん

私達は日々の暮らしの中で、本当に様々な人と出会い、関わって過ごしていますよね。性別も、年齢も、顔も性格も、生い立ちも自分と同じ人なんて一人もいないですよ。それと同じで障がいがあるとか、高齢だとか、それは何か特別なことなんかじゃなくて、当たり前の日常なんだなって、何となく、本当に何となく感じてもらえたらいいなあって考えています。



深堀さん

健常者と障がい者の線引きって、実はあいまいで身近なものだということも同じですね。「知らない」から「こわい」のであって、知ってみたらこわいものではないし、特別なことでもない福祉教育を通じて感じてもらえたらいいですね。



長谷さん

相手を思いやるということは福祉の基本的な姿勢ですね。私自身は福祉教育は未来への種まきだと思って実施しています。今、私たちの福祉教育を受けてくれた子どもたちが大人になった時に、「障がいのある、なしは特別なことじゃないって習ったな」と気づいてくれたり、「ちょっとボランティアをやってみようかな」と思えるきっかけになればいいと思っています。

また、障がい者の方、高齢者の方に共通することですけど、支援する側と支援される側ってあいまいですよ。例えば、地域で見守られる対象のひとり暮らしの高齢者さんも、実は子どもの登下校を見守っていたり。知らないうちにお互い助け合っているのが地域社会だということを知りやすく伝えたいです。

実際に福祉教育を受けた後の小学生、中学生からの声でどんなことが印象に残っていますか？



社協



深堀さん

ワークの時間に子どもたちと個別に話す機会がありました。その中で悩んでいる子もいて…。安心感を与えながら授業をしていくことの大切さを感じました。先生とも連携してこうした悩みをフォローしてもらえるといいですね。先生、子どもと寄り添える関係づくりに協力していきたいです。



三輪さん

授業を受けてくださった皆さんからのアンケートの中に、「困っている人を見かけたら声をかけたい」「おじいちゃんやおばあちゃんに優しくしたい」と書いてあるのを見せて頂きました。自分以外の人に対してそういった想いを抱いてくれること、とても嬉しく思いました。「そう書いてくれたあなたの周りには誰もが誰かの大切な人、もちろんこのアンケートを書いたあなたも誰かの大切な人、だからあなた自身もどうか自分のことを大切にしてくださいね」とそんな思いが少しでも届けられたらと思っています。



長谷さん

高齢者のことを伝える中で、必ず高齢者の方の「すごい」と思えるところや、身近にいる高齢者の方を想像できるような展開にしています。地域で活躍されている高齢の方を知って、「こういう風に年齢を重ねていけたら素敵だな」と感想にあるとうれしいですね。

人と人とは関わって生きていくということ、相手に好意的関心を持つということを引き続き美濃加茂市の福祉教育のベースとして発展させていきたいですね。



社協

日常生活自立支援事業 講演会

日常生活自立支援事業は、認知症や障がいによって判断能力が十分ではない方の生活を支える事業です。日常生活自立支援事業って具体的にどんな事業なの？誰が支援してくれるの？そんな疑問を楽しいトークで分かりやすく解説します。日常生活自立支援事業を通じて、みんなが住みやすい地域づくりについて一緒に考えてみませんか？

講演会テーマ

日常生活自立支援事業を利用して地域で生きる
『こまった』を『よかった』に

講師 mottoひょうご事務局長 栗木 剛 氏

とき 令和5年7月1日(土)13:30～15:30(受付開始13:00)

ところ すこやかタウン美濃加茂(総合福祉会館)1階 ふれあいホール

対象 美濃加茂市に在住、在勤、在学している方

参加費 無料 **定員** 100名

申込・問合せ 総合福祉会館窓口、または電話(28-1126)、FAX(28-6110)でお申込みください。



まちの大学minokamo



「俺の居場所 俺のブレンドコーヒー編」を開催します。

男性が気軽に集える場所を作っていきませんか。

定年退職後、人との関わりや外に出る機会が少なくなった男性を対象に、新たな生きがいの発見や人との繋がりを目的に「俺の居場所」を開催します。年間を通してコーヒー講座を開催します。お気軽にご参加ください。

● 令和5年7月11日(火)

● 令和5年8月2日(水)

9時30分～11時30分 「陶芸でMyマグカップを作ろう」

● 令和5年8月中旬

「作ったマグカップでコーヒーを淹れよう」

※8月以降の時間・場所等の詳細は、後日お知らせします。

ところ 総合福祉会館 陶芸室

対象 市内在住の65歳以上の男性限定

受講料 無料 **定員** 8名

申込期間 6月5日(月)～6月30日(金)

申込・問合せ 総合福祉会館窓口、または電話(28-6111)でお申込みください。

～日本赤十字社美濃加茂市地区からのお知らせ～

日本赤十字社で行う活動は継続的に行うことが必要な事業であり、皆さまからの「ご支援＝社資」によって支えられています。

協力方法 自治会を通じてご協力をお願いしております。

ご協力いただきたい金額の目安 **1世帯あたり500円**

社資募集にご協力をお願いします。



皆さまからのご支援は、災害救護・医療事業・血液事業・赤十字奉仕団活動、各種講演会や国際活動などに活用されます。日本赤十字社の具体的な活動内容は、今号の折り込みチラシをご覧ください。